
統計メールニュースNo.1152(2019.6.28)

このメールは、配信登録された方に無料で送信しています。

【本日の公表データ】

■小売物価統計調査(構造編)(2018年(平成30年)結果)

≪結果概要≫

2018年(平成30年)平均消費者物価地域差指数(全国平均=100)の「総合」を都道府県別にみると,東京都(104.4),神奈川県(104.3)が特に高かった。

一方,最も低いのは宮崎県(96.0)で,次いで鹿児島県(96.1),群馬県(96.3)などとなった。最も高い東京都は最も低い宮崎県に比べて,8.8%高かった。

https://www.stat.go.jp/data/kouri/kouzou/pdf/g_2018.pdf

- ■サービス産業動向調査(2019年(平成31年)4月分(速報))
- ○月間売上高は31.1兆円。前年同月比1.5%の増加。
- ○事業従事者数は3029万人。前年同月比0.9%の増加。

https://www.stat.go.jp/data/mssi/kekka.html

- □調査へのご理解・ご協力をお願いします。
- -みんなのくらしを支える統計調査-(広報動画)

https://www.youtube.com/watch?v=vQ3BtX_D4bs

配信先の変更・配信中止など

https://www.stat.go.jp/info/mail/index.html

ご意見, ご感想, 配信に関するお問合せなど

stat_m-news@soumu.go.jp

※統計データの入手先に関する問い合わせ、統計調査に関するQ&A

https://www.stat.go.jp/training/toshokan/faq.html

このメールにお心当たりがない方は、大変お手数ですが下記までご連絡ください。 総務省統計局統計情報利用推進課

stat_m-news@soumu.go.jp